

宮城県：アムス固化剤混合作業状況（浚渫土のリサイクル資源化）

I. 業務形態

1. 発注者：宮城県気仙沼地方振興事務所
2. コンサルタント：日本工営(株)（※NETIS で事後評価された技術として評価）
3. 施工者：(株)小野良組
4. 資材納入業者（固化剤）：(株)アムスエンジニアリング（※本社：宮城県東松島市内）

作業台船



作業状況（全景）



仮置場（ストックヤード）（養生後に埋戻材として使用）

## II. 施工方法

### ① 固化剤の搬入

II.

#### 施工方法 海上地盤改良工

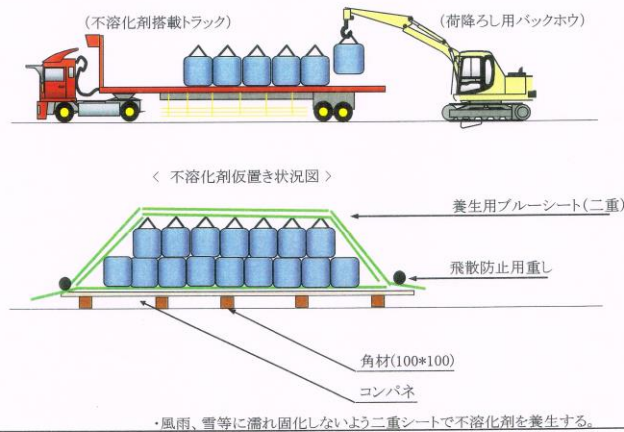
##### 不溶化剤搬入

##### (1) 不溶化剤積載車搬入

・不溶化剤は12m未満の大型トラックに積み込み、宮城県松島市から大島行きフェリーに搭載し浦の浜漁港内まで運搬する。運搬中、風雨及び雪等を防止するため、シート等で覆い不溶化剤を養生し運搬する。

##### (2) 不溶化剤荷降ろし

・現場に到着後、前もって作製した不溶化剤置場にクレーン仕様バックホウで吊り込み一時仮置きする。仮置き完了後、不溶化剤のバック表面にスプレーで納入番号を塗布し管理する。



### ② 浚渫

#### 浦の浜岸壁37：海上地盤改良工・浚渫 グラブ浚渫

##### (1) 不溶化剤浚渫船積込

・一工程当たり6袋積込  
(一工程、浚渫土砂V81m<sup>3</sup>×1.5×0.05=6袋)

##### (2) グラブ浚渫船係船完

[船倉寸法 L15m\*W9m\*H1.4m] 積込数量L15m\*W9m\*H0.6m=81m<sup>3</sup>

・浚渫船係船後、汚濁防止膜(L100m H4m)設置

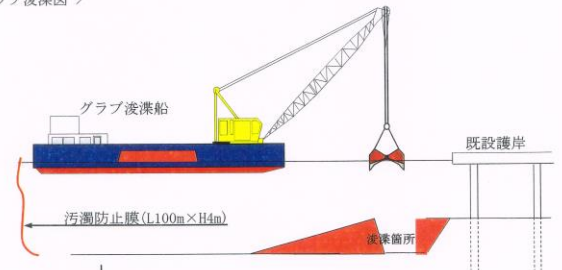
##### (3) グラブ浚渫

・汚濁防止膜設置完了後、グラブバケットで既設護岸を壊さないように丁寧に作業を行う。

##### (4) 浚渫土砂台船検収

・浚渫土砂を船倉に積み込んだ状態で浚渫数量の検収を行う。

##### < グラブ浚渫図 >



##### (5) 浚渫土砂不溶化剤添加

・土砂検収数量に応じて不溶化剤を添加する。  
・V浚渫土 ①湿潤密度1.5g/cm<sup>3</sup> ②圧縮強さ  
※添加量(1000kg/袋) N=V×①×②

写真1. 作業台船



### ③ 固化剤攪拌と搬出

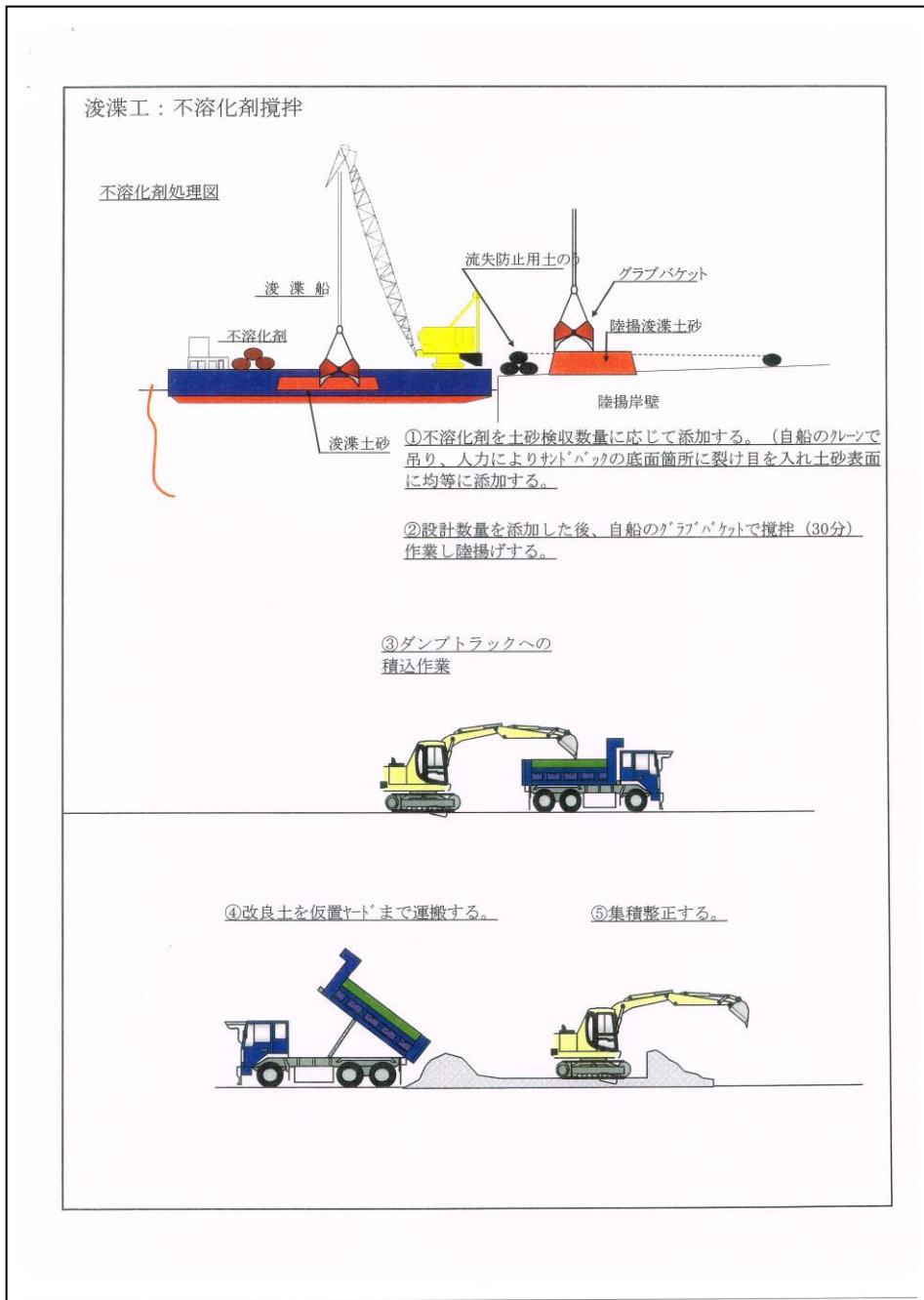


写真 2. 浚渫土



写真 3. 固化剤（AMS：エコハーモニイ）



写真 4. 作業台船で固化剤攪拌



写真 5. 作業台船より浚渫土（不溶化処理済み）陸揚

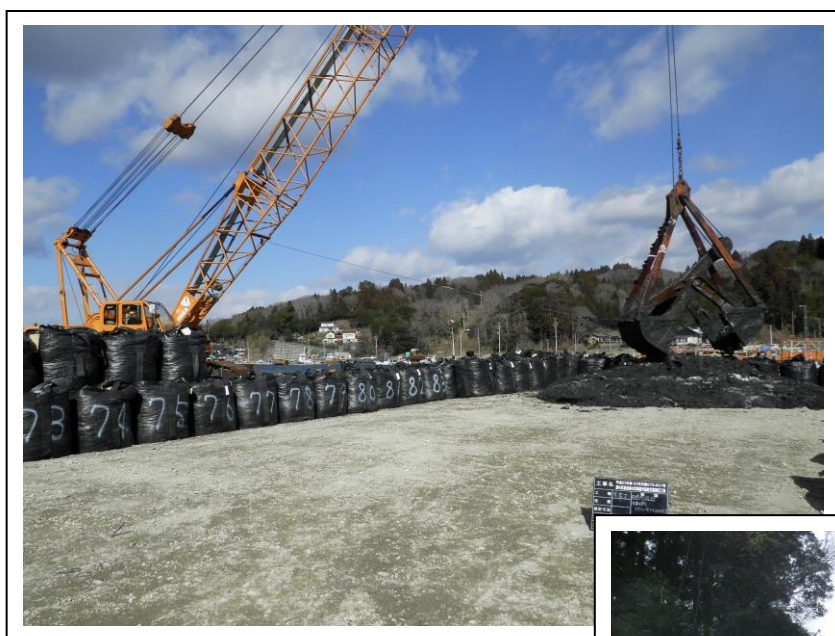


写真 6. ダンプで養生ヤードへ運搬

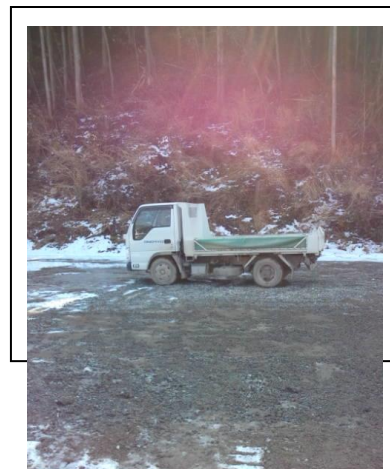


写真 7. 仮置場（ストックヤード）  
（養生後に埋戻材として使用）

